

山形県立東桜学館中学校 令和2年度経営計画

【基本理念】
【学校教育目標】

- 「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」
 1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる。
 2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる。
 3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる。

※評価A～D(A:十分に目標達成 B:目標達成 C:もう少しで目標達成 D:目標達成まで努力)

目標と方策	【評価項目】評価内容(目標数値)	自己評価	外部評価
I 高い志をもつ生徒を育てる			
1 学習の深化・高度化を図り、知的好奇心を涵養し、自らを高めようとする心を育てる。(教務図書課・進路学習課)			
(1) 生徒一人ひとりが能動的に学習に取り組めるような学習活動を計画したり、ICT機器を効果的に活用したりするなどし、学習への関心や意欲に働きかける。 (2) 協調学習等を通して互いに学び合う楽しさを実感させ、主体的に学習する態度を育成する。	【学校評価・生徒3】「私は、各教科の授業がわかりやすい。」(AとBで80%以上)	A	A
	【学校評価・保護者8】「いろいろなことを体験したり、挑戦したりする場が設けられている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・保護者5】「マイコンパス(キャリア教育)、未来創造プロジェクト(総合的な学習の時間)、理数教育や外国語教育など、特色を生かした教育が実践されている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・教員6】「授業や講話、互見授業で得たこと等を通し、生徒の知的好奇心を揺さぶる等、生徒の力をより伸ばさせようとする授業改善等に努めている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・教員8】「ICTを効果的に活用し、学習指導が行われている。」(AとBで80%以上)		
2 養成期や伸長期の初期指導として、学ぶ基礎となる「自己管理能力」を育てる。(進路学習課)			
(1) 「Weekly Compass(学館オリジナル生活ノート)」「自己管理能力チェック項目」を活用し、行動の意識化を図る。 (2) MT(まなびタイム)、家学ノート、ミステイクノートを活用し、復習する機会を増やす。	【学校評価・生徒12】「自己管理能力18項目」の中で、自分が努力したい項目をあげ、意識しながら取り組んでいる。」(AとBで80%以上)	B	B
	【学校評価・生徒13】「Weekly Compassを活用し、3点固定・朝食・家学と家読の時間等を意識しながら生活している。」(AとBで80%以上)		
3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進し、探究心を持ち主体的に課題を解決しながら自立して学ぶ生徒を育てる。(研究課)			
(1) 校内研究、互見授業、授業づくりの基礎・基本づくり点検等を通して、教員の学習指導力の向上を図る。	【学校評価・教員7】「校内研究を意識し、日常の学習指導の中で、縦と横の学びをつなげる授業が積極的にに行われている。」(AとBで80%以上)	B	B
	【授業づくり基礎・基本点検】授業づくりの基礎基本の自己評価の平均値が2.7(3.0満点)以上である。		
	他校の授業研究会や校外の研修会に参加した教員の報告数を100%とする。		
4 マイコンパス(キャリア教育の総称)を通して、社会を知り、社会性を養い、社会に貢献する姿勢を育てるとともに、大学入試や入試改革を踏まえ、中学段階でできる準備を促進する。(進路学習課)			
(1) 授業や職場体験、キャンパスツアー等の諸活動を通じて、自己や「生きていること」「働くこと」「学ぶこと」への理解を深める。 (2) 夢☆コンパス(社会人や学識者による講演会)やクエストなどの体験活動を実施する。 (3) 保護者の人材バンクを作成し、キャリア教育への協力を依頼する。 (4) オンラインスピーキングを導入し、活用を推進する。 (5) 「社会性育成活動報告書」を作成し、高校進路学習課と連携し、e-ポートフォリオの整備を進める。 (6) 希望者による東京大学のオープンキャンパスへの参加を企画・運営する。	【学校評価・生徒7】「私は、授業を通して、働くことや職業について考えることがある。」(AとBで80%以上)	B	B
	【学校評価・保護者9】「将来の生き方や働き方について考える学習が展開されている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・教員11】「マイコンパスにおける肯定的自己理解や職業観・勤労観、将来設計の立案が育まれるよう各学年の計画にもとづいて実践されている。」(AとBで80%以上)		
	オンラインスピーキングの導入、社会性育成活動実施報告書の作成、e-ポートフォリオの整備、希望者による東京大学オープンキャンパスへの参加を実施する。(実施の有無)		
5 生徒一人ひとりの個性や能力を生かしながら、互いに切磋琢磨し合い、自己の伸長を図る。(生徒課)			
(1) あらゆる場面で生徒指導の三機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を意識し、生徒が互いに協力し合い、高め合える雰囲気をつくることで、生徒一人ひとりが活躍できるようにする。 (2) 高い目標を掲げ、互いに励まし合い努力し、自己実現ができるようにする。	【学校評価・生徒19】「私は、学校行事や学年行事等に積極的に参加し、自分の力を発揮するよう努めている。」(AとBで90%以上)	B	B
	【学校評価・生徒20】「私は、仲間とともにいろいろな活動を協力して行っている。」(AとBで90%以上)		
	【学校評価・保護者4】「子どもは、目標をもって学館生活を送っている。」(AとBで85%以上)		
	【学校評価・教員14】「生徒指導三機能を意識した生徒指導が行われている。」(AとBで90%以上)		
6 健康・安全についての意識を向上させ、自己管理能力を高める。(保健課)			
(1) 毎朝の健康観察で、生徒一人ひとりの状況を的確に把握し、保健室や保護者との連携を密にしながら、生徒理解に努める。 (2) 健康診断等で治療勧告のあった生徒が、確実に医療機関を受診するよう、担任団と協力し、学校保健委員会で専門家の助言を得ながら取り組む。 (3) 清掃場所を2週ずつ交代しながら、取り組み方の意識を高め、新しい校舎をいつまでもきれいな状態で保とうという姿勢を育む。 (4) 感染症についての正しい知識を学び、生徒一人一人が正しい対策をとるとともに、差別や偏見の意識を持つことのないよう指導を進める。	「精密検査・治療の勧め」に対する報告をする。(70%以上)	B	B
	【学校評価・生徒2】「私は、健康な生活が送れるよう健康管理に努めている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・生徒17】「私は、清掃活動にまじめに取り組みとともに、常に学習環境をきれいにしようと考えている。」(AとBで95%以上)		
	【学校評価・保護者13】「教育施設などの環境整備がなされ、子どもの安全や健康に配慮されている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・教員24】「生徒の健康・安全について十分留意・配慮しながら指導がなされている。」(Aで77%以上)		

山形県立東桜学館中学校 令和2年度経営計画

【基本理念】
【学校教育目標】

- 「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」
 1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる。
 2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる。
 3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる。

※評価A～D(A:十分に目標達成 B:もう少しで目標達成 C:目標達成まで努力 D:目標達成まで努力)

目標と方策	【評価項目】評価内容(目標数値)	自己評価	外部評価
II 創造的知性をもつ生徒を育てる			
1 授業を通して、生徒の主体的・協働的な学びを育成する。(教務図書課・進路学習課)			
(1) 主体的・協働的な学びを育成する学習指導方法の授業の改善に取り組むとともに、基礎力の定着とその活用力の向上をバランスよく達成する。	【授業評価・生徒6】「互いに学びあったり、協力して問題を解決したりする場面がある。」(AとBで80%以上)	A	A
	【学校評価・教員4】「生徒一人ひとりの学習状況の把握を意識し、より効果的な学習指導がなされている。」(AとBで80%以上)		
2 論理的な思考力や協働して創造する力の源となる、基礎的な学力や知識を身につけさせる。(進路学習課)			
(1) 生徒一人ひとりの状況に応じて、発展問題や補充問題を提供し、個別指導を進める。 (2) 模試を精選し、データ分析を通じて、授業と生徒一人ひとりの学力伸長状況を点検する。	【学校評価・生徒8】「私は、家学と家読で、毎日2時間以上行っている。」(AとBで80%以上)	A	A
	【学校評価・生徒9】「私は、家学ノートやミスティブノートなどを活用し、復習に取り組んでいる。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・生徒4】「授業や講習などで、自分の学習到達度をもとに基礎を固めたり、難しい問題へ挑戦したりしている。」(AとBで80%以上)		
3 読書の奨励により、思考の基盤となる語彙の増加や理解の基盤となる経験の拡充を図る。(教務図書課・進路学習課)			
(1) 推薦図書を挙げ、読書ノートを作成させる。 (2) 朝読書を徹底する。	【学校評価・生徒10】「私は、進んで本や新聞を読んでいる。」(AとBで80%以上)	C	C
	【学校評価・生徒11】学習メディアセンターやまなびあテラス等の公共の図書館で読書したり、学習したりするなどし利用している。		
4 未来創造プロジェクト(総合的な学習の時間の総称)を通し、SSHで身に付けさせたい3つの力と2つの態度を育てる。(研究課)			
(1) 未来創造プロジェクトにおいて、各学年の内容に合った大学や企業の講師と連携し、デザイン思考の考え方を取り入れながら、自ら課題を設定し探究するカリキュラムを構築し、実践する。	【学校評価・生徒5】「私は、未来創造プロジェクトへ真剣に取り組んでいる。(外部講師の先生の授業も含む。)」(AとBで90%以上)	A	A
	【学校評価・教員10】「未来創造プロジェクトが計画に基づき、身につけさせる力が育まれるよう実践されている。」(AとBで80%以上)		
III 豊かな人間性をもつ生徒を育てる			
1 家庭や地域との連携を図り、教育環境や教育活動の充実、生徒の健全育成に努める。(総務課)			
(1) 学校及び学年のPTA活動や各種行事等への会員の出席率を高められるよう、各種案内の配付及びホームページ等の掲載を開催1ヶ月前に行う。 (2) 緊急連絡体制を周知するとともに、必要な場合、速やかな連絡に努める。	各種会合、行事への保護者の参加率80%以上。 携帯メール連絡網(マメール)の登録率100%。	A	A
	【学校評価・保護者1】「本校の基本理念や学校教育目標に基づいた教育実践が行われている。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・保護者15】「学校と保護者の連携が密であり、コミュニケーションが図られている。」(AとBで80%以上)		
2 本校の情報発信を積極的に行い、地域に開かれた学校づくりに寄与する。(総務課)			
(1) PTA会報や、学年通信等の刊行物を通し、他分掌の協力を得ながら、学校の様子を家庭や地域へ積極的に広報する。 (2) 各分掌や学年、部活動顧問等と連携し、ホームページの更新を積極的に行い、タイムリーな情報発信を行う。	【学校評価・保護者3】「学年通信、学級通信などの配付物や本校ホームページを通して、学校の様子がわかる。」(AとBで80%以上)	A	A
	【学校評価・教員18】「自分が担当している教育活動について、通信やホームページ等で積極的に情報発信を行い、「開かれた学校づくり」を心がけている。」(AとBで80%以上)		
3 他への感謝の心を持ち、互いに協力し合える生徒を育てる。(生徒課)			
(1) 朝夕、授業開始・終了時、給食前後のあいさつや会釈等を通し、他への感謝の心を態度で表すことができるようにする。 (2) 身だしなみなどの基本的な生活習慣を早期に確立させ、東桜学館生としての自覚をもつことができるようにする。 (3) 様々な活動を通し、自分のよさに気づくことができるとともに、他者のよさを賞賛することができるようにする。	【学校評価・生徒1】「私は、進んであいさつや返事をしている。」(AとBで90%以上)	A	A
	【学校評価・生徒16】「私は、ボランティア精神を持ち、学校内や学校外で他者のために行動することができる。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・保護者10】「子どもは学校生活や社会生活のマナーを守り、健全な生活を送っている。」(AとBで90%以上)		
	【学校評価・教員16】教員の指導のもと、生徒が服装や言動など規則正しい学校生活を送っている。」(AとBで90%以上)		
4 明確な目標をもち諸活動に取り組み、自主的・創造的に活動できる生徒を育てる。(生徒課)			
(1) 生徒会活動等を通して、様々な立場を経験し、集団力を高めるとともに、個々の実践力を向上させることができるようにする。 (2) 効率的・効果的な部活動を実施し、意欲的に取り組むことができる環境をつくり、活動を通して達成感を得ることができるようにする。	【学校評価・生徒15】「私は、生徒会活動や学級の係活動などに責任をもって取り組んでいる。」(AとBで90%以上)	A	A
	【学校評価・生徒14】「私は、部活動を精一杯取り組んでいる。」(AとBで80%以上)		
	【学校評価・保護者11】「部活動は定められた活動時間内で行われ、子どもは精一杯活動している。」(AとBで80%以上)		
5 生徒・保護者との相談活動を通して、不安や悩みを抱えた生徒の早期発見と支援に努め、適切な方向に導くことができるようにする。(保健課)			
(1) 「心のアンケート」を月1回実施し、生徒一人ひとりの心の在り方について把握し、必要に応じてSCや教育相談委員会と連携しながら、生徒の不安や悩みの解決に取り組む。 (2) Q-Uの結果を分析し、職員間で共有し学級経営や授業などにおける生徒支援に活かす。	【学校評価・生徒21】「私は、学校に相談できる人がいる。」(AとBで95%以上)	B	B
	【学校評価・保護者12】「各種講話やボランティアなどの心の教育に力を入れるとともに、カウンセリングなどが利用しやすく、心のケアの体制が整えられている。」(AとBで80%以上)		
6 食物や作ってくださる方々への感謝の気持ちを持ち、心身を健全に成長させるために好き嫌いをなく給食を食べる生徒を育てる。(保健課)			
(1) 学校栄養士と協力しながら、地産地消メニューについて学んだり、給食委員会の取組を積極的に進めながら、心を育む食育を推進する。	【学校評価・生徒18】「私は、たのしく給食を食べることができている。」(AとBで80%以上)	A	A
	【学校評価・保護者14】「地産地消や旬の食べ物を取り上げ、給食を提供するなど、心と身体を育む食育が推進されている。」(AとBで90%以上)		
	東根市や山形県で生産されている食材、特色ある食材を使用したり、献立で紹介している。(毎月)		